

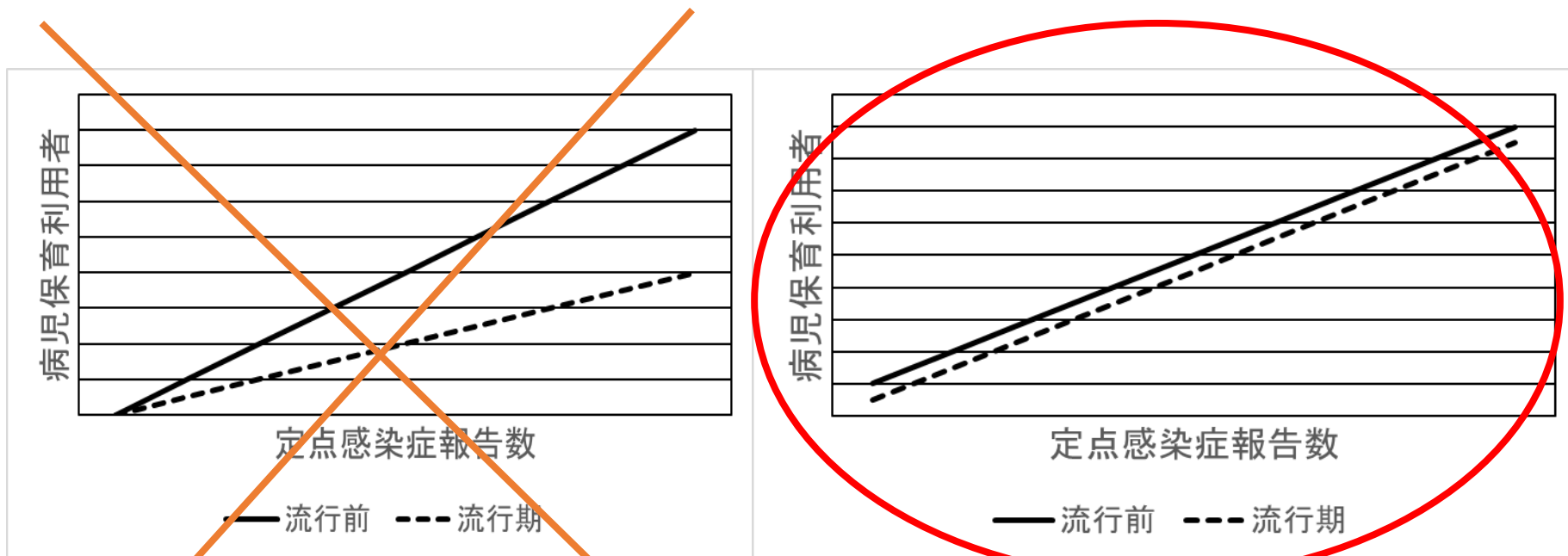
# 広島県における各定点感染症の 発生数と病児対応型保育施設の 利用者数に関する重回帰分析

広島国際大学健康科学部医療経営学科  
江原 朗

# 【背景】

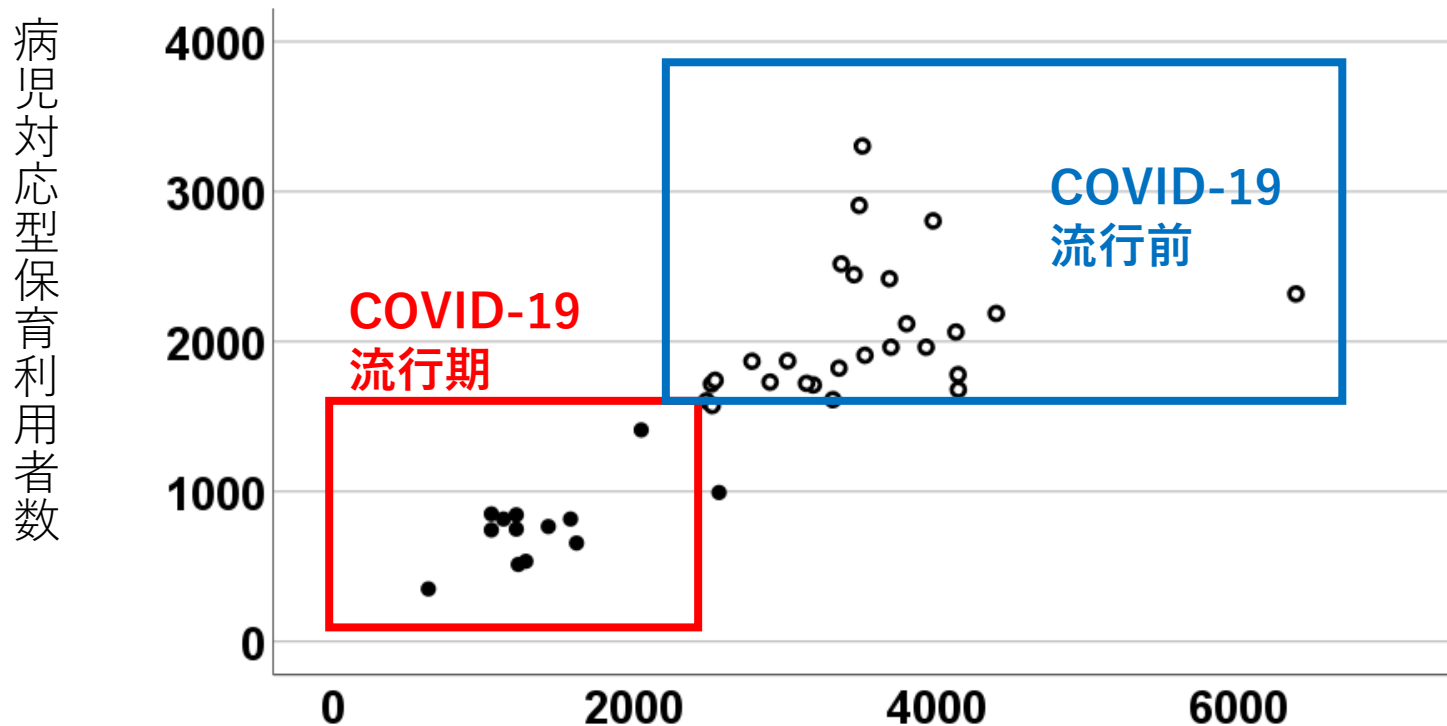
- COVID-19の流行に伴い、病児対応型保育施設の利用者数が激減した。
- 2022年日本小児科学会学術集会において、定点感染症報告者数と病児対応型保育施設の利用者数との間に相関があること、COVID-19流行前と流行期において定点感染症発生数と病児対応型保育施設との関係に有意差がないこと（回帰係数の有意差なし）を発表した。
- 定点感染症のうち、さらに病児対応型保育施設の利用に関連のある定点感染症は何であることを明らかにすることにした。

# コロナの流行前と流行期の感染症の発生と病児保育利用のモデル



COVID-19の流行は定点感染の報告数と病児保育利用との関係を変化させず。

# 小児科定点からの報告数の合計値と 病児対応型保育施設の利用者数 (日本小児科学会学術集会で発表)



小児科定点報告者数の合計値

# 【方法】

- 2018年1月～2021年3月の広島県内の小児科定点、インフルエンザ定点、眼科定点の感染症発生数について広島CDCから情報提供を受けた
- 同期間の広島県23市町における病児対応型保育施設の利用者数は、各市町の担当部局へのアンケート調査により入手した。
- 重回帰分析を行い、各保健所管轄地域における病児対応型保育施設の利用者数と定点感染症発生数（小児科定点、インフルエンザ定点、眼科定点）との相関の有無を解析した。

# 保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）対象疾患

定点感染症	2019年の発生数	保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）
小児科定点	42,780	
RSウイルス	3,351	○
咽頭結膜熱	2,142	○
A群溶連菌感染症	6,034	○
感染性胃腸炎	19,581	○
水痘	784	○
手足口病	5,914	○
伝染性紅斑	1,228	○
突発性発疹	1,231	○
ヘルパンギーナ	1,922	○
ムンプス	593	○
インフルエンザ	37,722	○
眼科定点	660	
急性出血性結膜炎	12	○
流行性角結膜炎	648	○

## 【結果 1】

- ヘルパンギーナ、ムンプス、流行性角結膜炎を除くすべての定点感染症の報告数は、病児対応型保育施設の利用者数に有意な相関がみられた。
- 理由は不明であるが、咽頭結膜熱は負の相関がみられた。

## 【結果 2】

- 定点感染症の報告数による病児対応型保育の利用者数への影響を標準化係数で見ると、影響が大きい疾患は、A群溶連菌感染症0.261、感染性胃腸炎0.291であった。



# 病児対応型保育施設の利用者数 と定点感染症との関係

説明変数	非標準化係数				標準化係数	T値	P値
	予測値	標準偏差	95%信頼区間				
			最低	最高			
小児科定点							
RSウイルス	1.074	0.244	0.594	1.555	0.128	4.402	<0.001
咽頭結膜熱	-1.352	0.563	-2.461	-0.244	-0.071	-2.404	0.017
A群溶連菌感染症	1.457	0.296	0.875	2.040	<b>0.261</b>	4.930	<0.001
感染性胃腸炎	0.592	0.090	0.415	0.769	<b>0.291</b>	6.589	<0.001
水痘	4.993	1.426	2.185	7.800	0.126	3.502	0.001
手足口病	0.396	0.153	0.095	0.697	0.106	2.594	0.010
伝染性紅斑	5.577	1.053	3.504	7.650	0.166	5.297	<0.001
突発性発疹	2.736	1.313	0.150	5.322	0.078	2.083	0.038
ヘルパンギーナ	0.455	0.456	-0.443	1.352	0.040	0.998	0.319
ムンプス	2.227	1.805	-1.327	5.780	0.036	1.234	0.218
インフルエンザ							
	0.088	0.014	0.061	0.115	0.187	6.372	<0.001
眼科定点							
急性出血性結膜炎	72.191	15.732	41.211	103.171	0.13	4.589	<0.001
流行性角結膜炎	-0.826	1.507	-3.793	2.142	-0.022	-0.548	0.584
パンデミック (0, 2020年3月1日以前; 1, それ以降)							
	126.497	24.771	77.719	175.276	0.162	5.107	<0.001
切片	-207.571	21.121	-249.162	-165.980		-9.828	<0.001

修正決定係数: 0.849.

## 【結論】

- COVID-19の流行期における病児対応型保育施設の利用者数の減少は、定点感染症の減少と大きな相関があると考えられた。
- COVID-19の流行とは別に、定点感染症の流行の有無が病児対応型保育施設の利用に大きな影響を与えることが明らかになった。